

コード No. 18202

Anti-Endothelin-3 Rabbit IgG Affinity Purify

容量 : 50 µg

はじめに : エンドセリン(ET)は当初、血管内皮細胞由来の全く新しい血管収縮ペプチドとして同定されました。ET には、異なる遺伝子によってコードされた 21 アミノ酸から構成される薬理活性の異なる 3 つのアイソフォーム、ET-1, ET-2, ET-3 が存在し、また血中ではその前駆体の Big ET-1, Big ET-2, Big ET-3 を含めた ET 関連ペプチドが存在します。この ET ファミリーは血管内皮細胞に限局せず広範な組織で発現しており、一過性の血管拡張作用と、それに引き続く持続的な血管収縮作用を有します。エンドセリンの受容体は、ETA と ETB の 2 種類が存在しこれらの組織に広く分布し、ETA は血管収縮作用、ETB は血管拡張作用に関与していると考えられています。このように ET が多彩な生理活性を示すことから ET ファミリーがパラクリンあるいはオートクリンとして局所ホルモンの機能を果たしていると考えられています。

免疫抗原 : Endothelin-3 の部分合成ペプチド

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 50 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 3~5 µg/mL にて使用可能(ホルマリン固定、パラフィン切片)

使用方法 : ウェスタン・ブロッティング 2~5 µg/mL にて使用可能

特異性 : Endothelin-3 100.0 %
Endothelin-1 0.8 %
Endothelin-2 0.8 %
Big Endothelin-1 0.8 %
Big Endothelin-2 0.8 %
Big Endothelin-3 100.0 %
VIC 0.1 %
: Rat, Mouse と交差